# おやじバンド 東北に元気

「テケテケ」サウンドで被災地にエールを――。米国のロックバンド、ベンチャーズを愛する東北の「おやじバンド」が集い、支援を呼びかけるライブイベントが6月4、5日、山形市の蔵王温泉で開かれる。津波被害でメンバーが避難所生活を送るバンドも出演。「元気を取り戻そう」とエレキギターを響かせる。

## 来月4・5日 蔵王でライブ 計6組、陸前高田からも

イベントは「おやじ楽団演奏会」。蔵王温泉観光協会などでつくる実行委員会が主催。山形、岩手、宮城、福島、富山の40～60代のおやじバンド計6組が、ベンチャーズやビートルズなど60年代のロックやグループサウンズを演奏する。

両日はもともと蔵王温泉で毎年開かれる音楽フェスティバルの一環として、ベンチャーズのリードギター、ノーキー・エドワーズさん(76)をゲストに招いた「蔵王ベンチャーズフェスティバル」が開催される予定だった。しかし3月11日の震災と原発事故で、米国からエドワーズさんの来日ビザが下りず、イベントは9月に延期になった。

参加予定だった岩手県陸前高田市のバンド「三陸ベンチャーズ」のメンバーが被災したことから、実行委や他のバンドが「仲間を助けよう」と、当初のイベント開催日に支援ライブを計画。入場無料にし、会場に募金箱を置く。集まった義援金は「三陸」のメンバーに同市に届けてもらう。

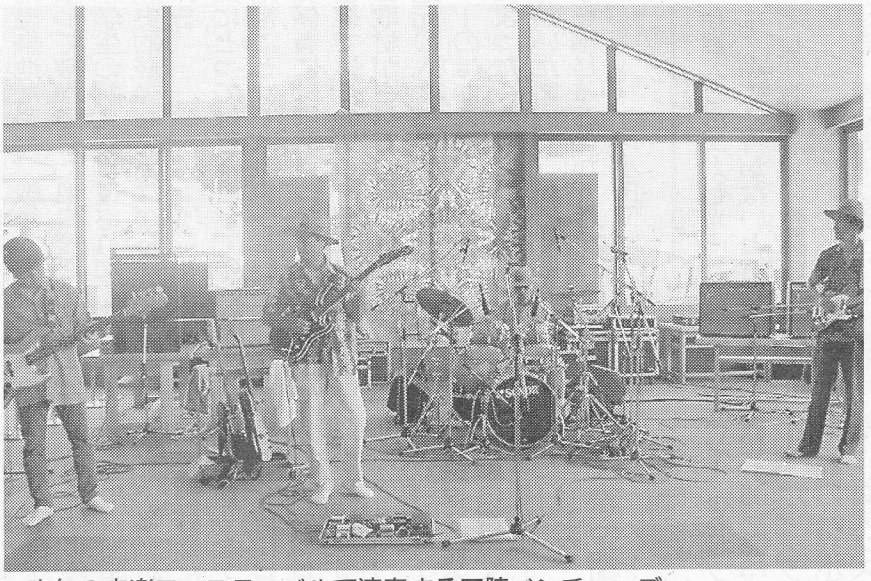
「三陸」のメンバー4人のうち2人は避難所暮らしが続く。リーダーでドラムスの大泉善裕さん(59)は津波で家が流され、家財道具も失った。愛用のドラムセットは100万円以上先のがれきにうずもれていた。

仮設住宅への入居の見通しは立たず、バンド練習もできない。それでも出演を決めたのは「周りにも家族や家をなくした人が多く、日々気持ちが落ち込んでいく。何かをやらなきゃいけない」と思ったからだ。

当日は、友人から借りたギターや修理したスネアドラムで、ベンチャーズの名曲『パイプライン』や『ウオーク・ドント・ラン』をかき鳴らす。大泉さんは「ベンチャーズサウンドにはスピード感と力強さがある。自分たちも元気を出し、被災地にまでギターを響かせたい」という。

舞台は蔵王温泉の高湯通り特設ステージ。4日は午後3～8時、5日は午前10時～午後3時。趣旨に賛同して出演を申し出た体操の五輪金メダリスト塚原光男さん(63)率いる「塚原光男&ムーンサルト」もゲスト参加する。

問い合わせは、蔵王温泉音茶屋(023・694・9081)へ。(中野龍三)



昨年の音楽フェスティバルで演奏する三陸ベンチャーズ
＝2010年8月、山形市の蔵王温泉（実行委員会提供）